

(S29-22 用)

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 研究課題名                   | 外科的アプガースコアとせん妄の関連について  |
| 研究期間                    | 西暦 2017年 11月 17日 ~ 西暦 2017年 12月 31日<br>(対象期間: 2017年 4月 1日~2017年 6月 30日)  |
| 研究の目的と意義                | せん妄は身体疾患を背景に、短期間で発症する注意と意識の障害と定義されています。手術後、高齢者の 37-46 %においてせん妄が出現すると報告されており頻度が高い疾患です。また、入院期間の延長、死亡率の上昇、認知症発症の増加と関連することが報告されており、発症による悪影響が大きいと考えられています。術後せん妄の発症に関しては、術中の低血圧、周術期の輸血、長い手術時間などのリスクファクターが報告されていますが、せん妄のリスクファクターは多数にわたり、これらは複合的に関与することが多く、簡便にせん妄ハイリスク群を予測することは困難であります。外科的アプガースコア (SAS) は、術中の最低平均動脈圧、最低脈拍数、出血量の 3 つのスコアを用いた術後合併症のスコアリングシステムで非常に実施が簡便な一方で、術後の死亡率、感染症、腎不全など、重篤な術後合併症との強い相関が多数報告されています。本研究では、外科的アプガースコアが術後せん妄の発症の予測においても有用な指標となるか検証を行います。 |
| 研究方法                    | 2017年4月1日から2017年6月30日の期間に、京都第二赤十字病院の整形外科に入院して全身麻酔手術を施行された70歳以上の患者さんの治療に関する情報をカルテより収集し、解析を行いません。<br>本研究では、診療録の中から必要な情報のみを用いて行ないますので、患者さんへの新たな負担等は一切発生しません。  |
| 個人情報の保護、<br>研究参加の拒否について | 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。<br>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。   |
| 結果の公表                   | 研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。  |
| 問合せ先                    | <b>【研究責任者】</b><br>京都第二赤十字病院 こころの医療科 医長 中村 光男<br>〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5<br>TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)   |